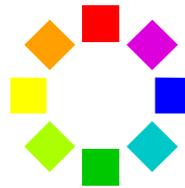


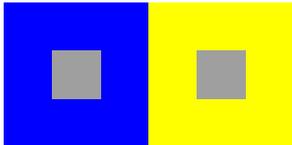
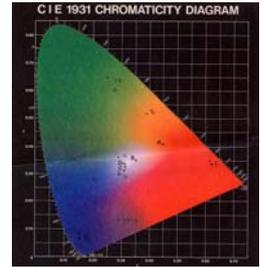
色の錯視



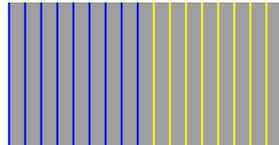
400 500 600 700
電磁波（光）の波長（単位はナノメートル（nm））



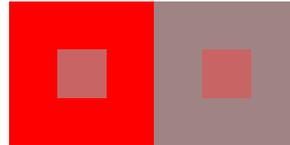
色相環



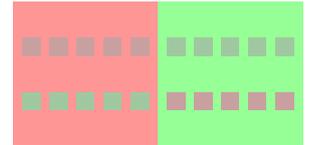
色の対比…青に囲まれた灰色領域は黄味がかって見え、黄に囲まれた灰色領域は青味がかって見える。



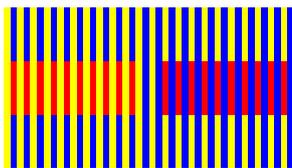
色の同化…細い青線の乗った灰色領域は青味がかって見え、細い黄線の乗った領域は黄味がかって見える。



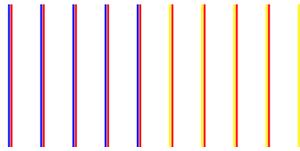
彩度対比…彩度（色の鮮やかさ）の高い色に囲まれた領域の彩度は低く見え、彩度の低い色の囲まれた領域の彩度は高く見える。



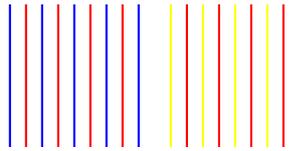
酒井の色の対比…左上の「灰色」は右下のピンクと同じ色であり、右上の「灰色」は左下の緑と同じ色である。



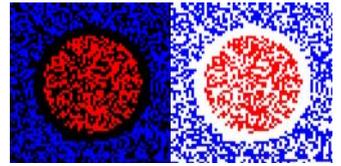
ムンカー錯視…黄と青の縞の青部分に赤を乗せるとオレンジ色がかって見え、黄部分に赤を乗せると赤紫がかって見える錯視。



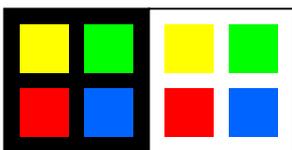
並置混色…赤い線を青い線の近くに置くと青味がかって見え、黄色の線の近くに置くと黄色味がかって見える。



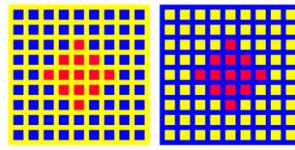
「遠隔色相対比」…赤い線がある程度青い線より離れたところに置かれると、青の補色の黄色味がかって見える。黄色の線の間に置かれると青味がかって見える。



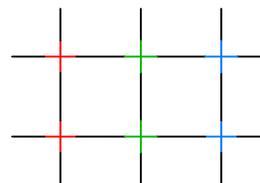
色立体視…黒背景の赤は手前に見え、青は遠くに見える。白背景の場合はその反対。全く逆の人もいる。



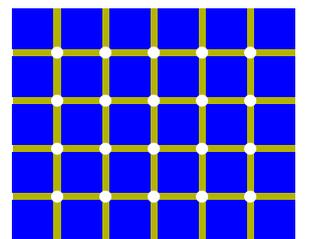
膨張色と収縮色…黄色の領域は大きく見え、青の領域は小さく見ると称する現象のこと。光滲現象説が有力。



色の土牢錯視…格子の色とは同化で、地の色とは対比となる錯視。左図では赤がオレンジ色に、右図ではマゼンタ色に見える。



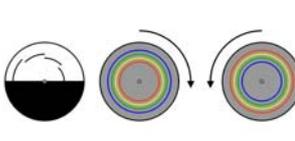
ネオン色拡散…線の交点に色を付けるとその色がパッチ状に広がって見える錯視。



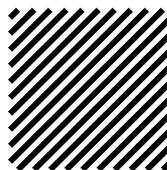
色のきらめき格子錯視…白い円の中に青いものが光って見える。



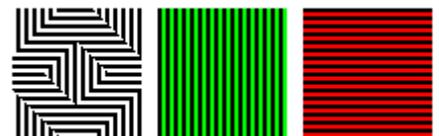
踊るハート…矢印のあたりを見ながら図を動かすと、ハートが踊るように動いて見える。暗いところで見た方がよく見える。



ベンハムのコマ（フェヒナー色）…左の図を時計回りに回転すると中の図のように色が見え、反時計回りに回転すると右の図のように色が見える。



主観色…細い白黒の縞模様にはその傾きと垂直方向のパステルカラーの帯が見える。



マッカロー効果…緑と黒の縦縞を見続けると、白黒の縦縞を見た時、白の部分が赤味がかって見える。しかし、横縞の白部分には起きない。一方、赤と黒の横縞を見続けると、白黒の横縞を見た時、白の部分が緑味がかって見える。しかし、縦縞の白部分には起きない。